發會式には是非いらつしやい

11.5.26 H

11.5.2 898

▲女給同盟へお入りなさい!!

假事務所　北區西野田江成町二九二

諺に『稼ぐに追ひつく貧乏なし』と申しますが、實際は全く之れと反對で私達は稼いでも〳〵貧乏神に追ひつかれます。之れは何故かと申しますに、今の世の中が不平等で、強い者勝ちだからであります。金持は遊んで居てもどし〳〵お金が殖えて行きますが、貧乏人はいくら稼いでもお金のたまるどころか、その日の暮しさへ思ふやうには行かぬのです

それならば、弱い者はどうしても強い者に勝てぬかと申しますと、決して然うではありません南米地方では幾十萬といふイナゴの群が、あの強い象や虎を仆すといひます。つまり、弱い小虫でも多數が團結すると強い猛獸をも仆す事が出來るのです弱い私共も、多數集りますならば、強い資本家共にも打勝つ事が出來るのです。

皆さんは、皆さんの主人の仕打に不平があつても、一人で打突かつて行く丈けでは、迚もモノにはなりませぬ。然し若しも皆さんが多數團結して主人に當るなら、主人は屹度皆さんの主張を聞き容れるでせう。

然うです。皆さんが何等かの要求を主人にしやうとならば、先づ皆さんが多數團結しなければなりませぬ

私共は右の趣旨から、此度『女給同盟』を作る事となりました。組合は皆さんの力です。武器です。守本尊です。若し皆さんが自分の地位を向上し、境遇を改善しやうと望まれるならば、先づ我が組合に加入なさらねばなりませぬ。

來れ！滿都の兄姉達！

發會式

日時　四月十日午前九時
場所　西區西九條朝日屋食堂
開會の辭
議事
役員選擧
講演
『死線を越えて』著者　賀川豐彦
法學士　山名義鶴
大阪時事記者　鹽澤元治
大阪毎日記者　村島歸之
覺醒婦人會理事　賀川春子
同　小見山富惠
相生食堂女給　藤本芳子
朝日屋食堂女給　小堀千代子
同　松田あや子
其他十數名
主催　女給同盟
後援　關西新聞記者團有志
同　日本勞働總同盟有志

入會の手續

▲會員となるには

◇本會の精神に贊成した女給諸君御入會を望まる、方は、本同盟の事務所に御申込下さい。叮嚀に御教へ申し上げます。

◇本會の會費は毎月卅錢でありますが御入會の時は、入會金として別に廿錢を御納下さい。入會金及び會費は凡て本同盟に御送りを願ひます。

◇本同盟は之に對して會員證、會員徽章及び機關雜誌一部と新聞一部とを御上げ致します。

……切……取……線……

申込書

氏名	
生年月日	年　月　日生
現住所	
本籍	

貴會の主義綱領及規則承知の上入會金相添へ　會員として入會申込候也

大正　年　月　日　申込者

女給同盟御中

（大阪南區水崎町七一九借家人同盟逸見直造氏寄贈）